

平成 30 年度 茨城県 数学 正答

問題		標準解答	配点		
1	(1)	-5	4 点×5	20 点	
	(2)	2			
	(3)	$\frac{3}{8}$			
	(4)	5x			
	(5)	$2\sqrt{5}$			
2	(1)	$(x - 1)(x - 8)$	4 点×5	20 点	
	(2)	$x = 2, \quad y = -3$			
	(3)	$x = -1 \pm \sqrt{2}$			
	(4)	$8a + b < 500$			
	(5)	$4\sqrt{6}$			
3	(1)	40 (度)	5 点×3	15 点	
	(2)	315 (円)			
	(3)	$\frac{2}{9}$			
4	(1)	$a = 8$	4 点	9 点	
	(2)	$(-\frac{5}{4}, -\frac{5}{2})$	5 点		
5	(1)	<p>△AHF と△DIF で,</p> <p>仮定から, $AF=DF$ ……①</p> <p>対頂角だから, $\angle AFH=\angle DFI$ ……②</p> <p>平行線の錯角だから, $\angle HAF=\angle IDF$ ……③</p> <p>①,②,③から,1 組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので,</p> <p style="text-align: center;">$\triangle AHF \equiv \triangle DIF$</p>	4 点	9 点	
	(2)	$\frac{5}{12}$ (倍)	5 点		
6	(1)	2050 (円)	4 点	9 点	
	(2)	B(市の水道料金の合計のほうが)500(円安くなる。)	5 点		
7	(1)	イ	エ	4 点	9 点
	(2)	0.16		5 点	
8	(1)	$64 + 64\sqrt{3}$ (cm^2)	4 点	9 点	
	(2)	$\sqrt{34}$ (cm)	5 点		

5 (1) 備考: 証明の仕方が異なっても,論証の過程が正しければよい。